

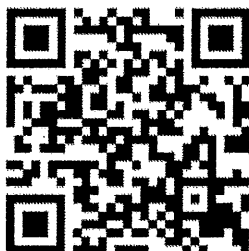
## 利用方法

- ①QRコードリーダーをパソコンに接続します。
- ②(初回のみ)「クイックプログラミングマニュアル(商品に同封)」の「10.QRコード漢字送信設定 A メモ帳・Excel 等※1 で出力する場合」のバーコード「手順1」「手順2」を本体でスキャンする。



(イメージ)

- ③エクセルを開く
- ④QRコード「ドボクイテロウ」「ドボクジロウ」を本体でスキャンする。

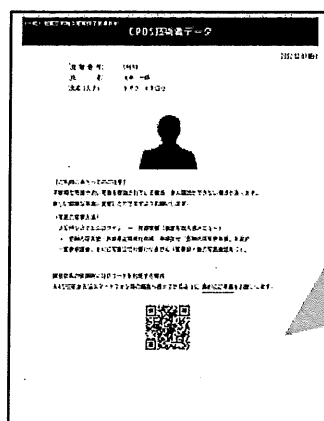


ドボクイテロウ



ドボクジロウ

←スキャンをお試しいただけます。



	A	B	C
1	59690	ドボク	イテロウ
2	225666	ドボク	ジロウ
3			

読み込んだエクセルの画面

- ⑤「名前を付けて保存」を選択。  
「ファイルの種類」を「CSV UTF-8 (コンマ区切り) (.csv)」で保存する。
- ⑥保存したデータを CPDS システムでアップロードする。  
手順については基本操作マニュアルをご確認ください。

資料内の図等は開発中のもので、予告なく変更することがあります。

事務連絡  
令和4年6月30日

長野県土木施工管理技士会  
支部事務局長 様

長野県土木施工管理技士会  
事務局長 水口森隆

## CPDS技術者証の氏名及び登録番号等の読み込み方式について

先ごろQRコードリーダーを各支部1台ずつ配布させていただいたところです。

このことについては、これまで理事会等での説明はしておりましたが、事務局の皆様へはあまり情報をお知らせしておらず申し訳ございませんでした。

背景や今後の対応について下記に記載しますので、参考にご覧いただきたいと思えます。

### 記

#### 1 背景

- ・従来の磁気カードの利用が社会的に減少してきて関連機器の値段が上がってきたのと、機器が新しいOSに対応しづらく使い勝手が悪くなっていることなどから、全技連では、令和3年度末で磁気方式のカードの発行を停止しました。
- ・その代わりにホームページの個人会員情報サイトに会員全員に対してQRコードを表示するアイコンを設けて表示、印刷できるようにしました。

#### 2 新方式の説明

- ・新方式での本人確認は、これまでのカード提示に加えてQRコードを印刷か携帯電話表示により提示いただき、それをQRコードリーダーにより氏名及び登録番号等を読み込むことにより、パソコンのエクセル上にデータが入力されます。

#### 3 今後の対応

- ・新方式のカードを持っている人は、今後徐々に増えてくると思われますが、ほとんどの方は従来方式の磁気カードによる入力となりますので、当面両方の方式により本人確認が必要となります。
- ・ただし、パソコンに磁気カードリーダーとQRコードリーダーの両方を接続できますので、新旧方式を1台で対応することが可能です。
- ・当面の課題としては、新カードの会員がQRコードを受付時に持ってこない人が多いため、番号を書き取りで控えるやり方での対応となり、今後会員への十分な浸透が必要となります。

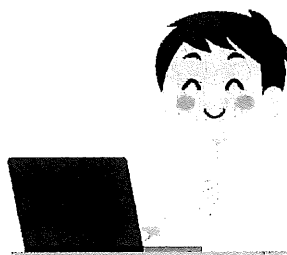
#### 4 その他

- ・参考に全技連の説明資料を添付します。
- ・何かございましたら、お問い合わせください。

以上

# QRコードを利用した講習会のイメージ

## 講習会前



【受講者】  
全国技士会のシステムで「CPDS 技術者証データ」を印刷、またはメール送信します。

[0202000] 個人情報

個人情報	2022.02.01発行	CPDS 技術者証データ
氏名	山田 太郎	〒100-0001 東京都千代田区千代田
住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田	〒100-0001 東京都千代田区千代田

## 講習会当日

CPDS 技術者証データ

2022.02.01発行

姓 名	山田 太郎
姓 名 (カナ)	ヤマダ タロウ

【ご利用にあたっての注意】  
不明な文字や古い写真を登録されている場合、本人確認ができない場合があります。  
新しい写真や最新の住所に変更した場合は、必ずお知らせください。

【写真の更新方法】  
J-CMSシステムにログイン → 共通情報（所属を記入済みの場合）  
→ 登録写真更新・写真再取得再取得 申請完了（住所情報更新申請）も選択  
※変更申請後、すぐに写真が切り替わりません（更新後、別の写真登録あり）。

講習会当日の会場内にQRコードを利用する場合は、  
Aで印刷またはスマートフォン等の画面へ表示できるように、事前に必ずご確認ください。

【受講者】  
印刷した「CPDS 技術者証データ」を受付に提示します。  
又は、転送した「CPDS 技術者証データ」をスマートフォン等に表示して受付に提示します。

【講習会主催者】  
「CPDS 技術者証データ」にある QR コードをリーダーで読み込み、パソコンに保存します。



## 講習会終了後

【講習会主催者】  
システムより QR コードのデータで学習履歴申請（代行申請）をします。  
従来のようにカードリーダーのデータ (\*) や定型の CSV、直接入力も併用で学習履歴申請が可能です。  
(\*) 2021 年度以前の加入者が対象です。2022 年度のカードはリーダーに対応していません。

資料内の図等は開発中のもので、予告なく変更することがあります。